



—昭和大学歯科病院の理念—

患者本位の医療
先進的医療の推進
良き医療人の育成

発行責任者 病院長 馬場 一美
編集責任者 広報委員長 長谷川 篤司
〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1

TEL 03-3787-1151 (代表)
いちいちごいち

ホームページ: <https://www.showa-u.ac.jp/SUHD/index.html>

真の美容歯科とは

美容歯科 診療科長・教授 真鍋 厚史

私は美容歯科診療科長の真鍋厚史と申します。美容歯科は2007年（平成19年）9月から発足しました。当初はユニット（治療椅子）1台から始まり現在では5台プラスαになりました。その理由は「美容歯科」と「う蝕治療科」が一緒になり美容歯科治療を追求しつつ一方では「う蝕治療」と「う蝕予防」、さらにはお口全体の管理を目指す診療科となっております。

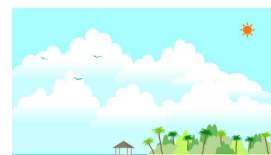
具体的に申しますと古くなった詰め物や黒ずんだ歯を元のように白い天然歯の色に近づけてあげること为目标に患者さんと接しております。その一方でなるべく口腔内全体に対して侵襲の少ない治療を心がけております。ごく小さなう蝕や少しザラザラした歯面、沁みる箇所などは削らずフッ素などの塗り薬で対応したいという願いを込めて診療しております。

また歯の色が気になる方を中心にホワイトニング外来も立ち上げており去年11月に厚生労働省で承認された最新のホワイトニング方式も取り入れております。このホウ

イトニング外来の目的は単に歯を白くすることだけではなく患者さんがご自身の口の中に対してより興味を持たれることを狙いにしております。



当科では歯科衛生士と歯科医師が連携を取り診療が終了した方や定期検診をご希望の方を中心に唾液や口臭の検査などを行うことで、お口の中で不具合を発見した場合でも担当歯科医師が即座に対応するシステムを構築しております。今までの歯科衛生士業務内容を大幅に更新することにより患者さんに寄り添いやすく優しい治療を心がけております。裏面の診療科紹介では具体的な治療内容をお示ししておりますのでご興味のある方は、是非4階西診療室受付（美容歯科）へお越しいただければ幸いです。



- P1 巻頭言 真の美容歯科とは
- P2 診療科紹介 美容歯科
- P3 部署紹介 新入職員ご挨拶
- P4 患者満足度調査結果報告、編集後記

記事見出しの色分けをいたしました。

患者さん向け、医療機関向け、お知らせなど

私たち「美容歯科」で行う治療では、形態の美しさ、色彩の美しさ、機能的な美しさの調和を図ることで、その人に合う自然な歯をつくりあげることが目標にしています。また、可能な限り歯を削らないというMI（Minimal Intervention）つまり「最小限の侵襲」という概念のもと治療を実践しております。

●むし歯の治療

小さなむし歯には銀の詰め物による治療を避け、最新の接着システムやコンポジットレジン（歯を修復する高分子材料）を用いることで、余剰に健康な歯質を削ることのない修復が可能になります。（Fig.1）

しかしむし歯が深くまで進行すると、コンポジットレジンでは対応が困難になります。その場合はセラミックスを用いた治療を行うことで、自然な歯の色調の回復が可能になっています（保険外診療）。症例によって材料を選択することで、美しく仕上げるだけでなく、よく咬める、長く使えることを重要としています。

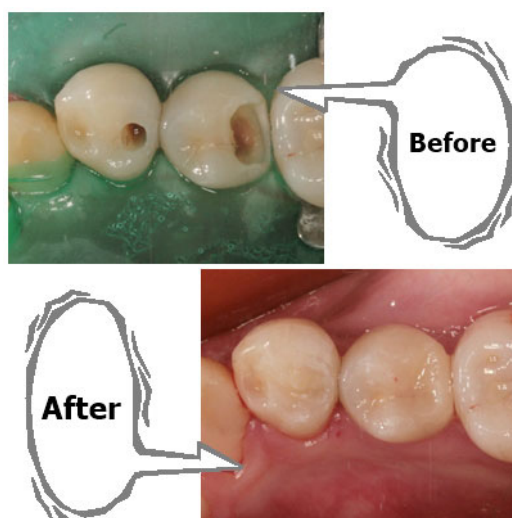


Fig.1 コンポジットレジンを用いた治療

●ホワイトニング

加齢や生活習慣などによって黄色くなってしまった歯を白くするには、専門性の高いクリーニングや薬剤を用いたホワイトニングが有効です。昨年、当科で実施した臨床試験（治験）を経て「オパールエッセンスGo」という新しいホームホワイトニング材が発売されました。（Fig.2）

自宅で行うホワイトニングで最初から薬剤が入った既製のトレーを口腔内に装着して行います。そのため、最短当日から気軽に始められるホワイトニングになります。ポストコロナの兆しが見えはじめている今こそ、ホワイトニングを始めて、“マスクをとったら綺麗な白い歯”を目指すのはいかがでしょうか。

ご興味のある方、ご相談がある方は、お気軽に4階西診療室受付までお声かけください。



Fig.2 オパールエッセンスGo



美容歯科スタッフ

新入職員ご挨拶

2022年3月に本学大学院を終了し、4月1日より補綴歯科の助教（歯科）として入職しました枅滯那と申します。

本学大学院歯学研究科にて歯科補綴学を専攻し、デジタル印象を用いたインプラント治療の研究を行っておりました。在学中は研究と診療が中心の生活でしたが、入職したことにより教育に関しても少しずつ経験を積ませていただければと思います。

また、診療では大学院時代で学んだ知識と経験を活かし、患者さんに納得いただける丁寧な治療を心がけてまいります。未熟で至らぬ点などあるかと存じますが、当院の発展のために微力ながら尽くさせていただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

補綴歯科 助教（歯科） 枅 滯那

本年3月に本学大学院を修了し、4月より高齢者歯科に入職いたしました畑中幸子です。

当科は、高齢者歯科という名前から単にご高齢の方を診るだけではありません。全身のご病気をしっかり把握し、それに応じて入れ歯の治療等の一般的な歯科治療はもちろんのこと、口腔機能の低下を予防し、QOLの向上を目的として幅広い治療をおこなっております。

また、病院に通院が困難になった患者さんに対しては、訪問診療にて治療をさせていただいております。さまざまな知識や技術を包括して診療に臨むため、日々勉学に励んでおります。これからも地域の皆様のご健康に寄与できるよう邁進してまいります。

高齢者歯科 助教（歯科） 畑中 幸子

このたび歯科麻酔科に入局しました西原理恵と申します。

兵庫県出身、出身校は東京歯科大学で、昨年度は東京歯科大学水道橋病院で研修し、4月から歯科麻酔科に入局いたしました。もともと全身管理に興味はありましたが、臨床研修での麻酔科研修中に、麻酔科医が行う全身管理により安全に手術が行えたり、手術中の急変に適切に対処したりしているのを見て、歯科麻酔科への入局を決めました。

慣れない環境ではありますが、指導医の先生方には親身に熱心に指導していただき、また同期にも恵まれ、日々切磋琢磨しながら充実した毎日を過ごしています。

まだまだ未熟でご迷惑をおかけすることも多いと思いますが、少しでも多くのことを吸収できるよう研鑽したいと思います。ご指導・ご鞭撻のほど宜しく願いいたします。

歯科麻酔科 助教（歯科） 西原 理恵

来院される皆様へ 感染対策についてお願い

- 正面玄関入口にてアルコールディスペンサーを設置しております。来院の際は、手指消毒にご協力をお願いいたします。
- また、サーモグラフィ、非接触型体温計によ

る全来院者の検温を実施しております。

- ※37.5℃以上の発熱がある等、体調変化がある場合は来院をお断りすることがあります。
- マスク着用は原則必須です。

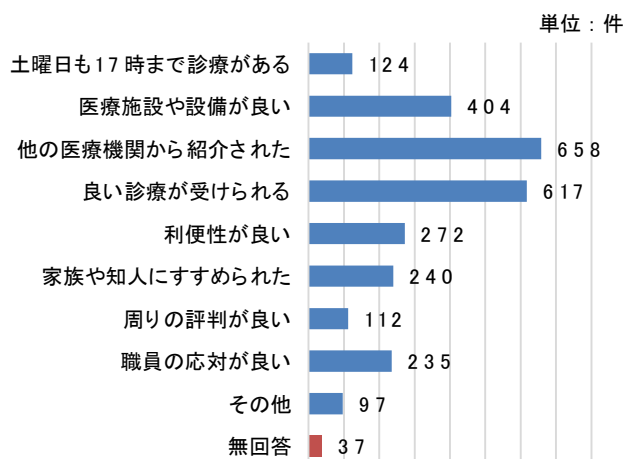
患者満足度調査結果報告

患者サービス向上委員会

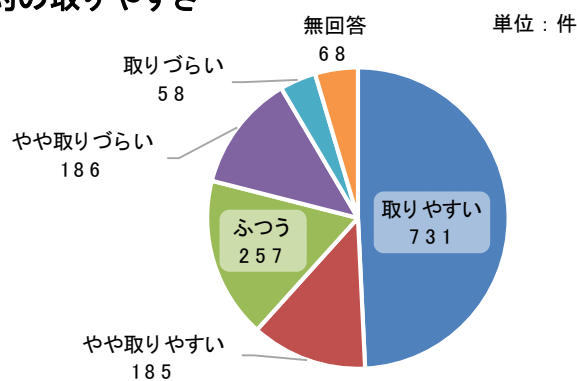
2022年1月29日～2月4日の間で患者満足度調査を実施し、アンケート回収枚数1,485枚のご回答をいただきました。調査にご協力いただきまして誠に有難うございました。

皆様よりいただきました貴重なご意見は、今後のサービスの向上に活かし、より一層安全かつ質の高い医療を目指して改善に努めて参ります。

当院の選択理由(複数回答可)



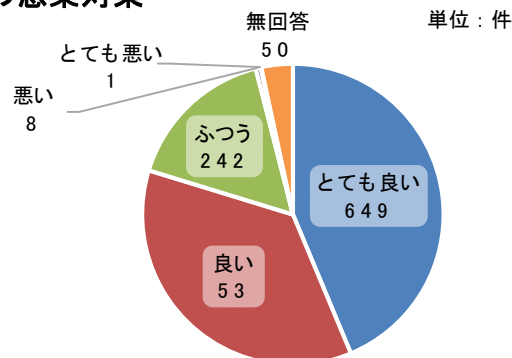
予約の取りやすさ



総合的に当院を100点満点で評価すると何点になりますか？

総合評価	回答数	割合	平均点
2021年度	1,237	83.3%	88.0
2020年度	1,315	83.6%	86.9

施設内の感染対策



患者さんからのご意見記述(抜粋)

- ・担当医が週一なので急に痛くなると心配です。

〔回答〕担当医不在の場合は、他の歯科医師が対応させていただきますので痛みを我慢せず、受付時間内に来院していただけたらと思います。

- ・職員全員に温かみを感じます。大変立派なことですし、ありがたいことです。

〔回答〕お褒めの言葉をいただき誠にありがとうございます。今後も、皆さま方に信頼していただけるように、職員一同努めて参ります。

編集後記

記録的な短さで梅雨が明け、気温が高い日が多くなりすっかり夏がやってきたという感じですね。コロナ禍の生活様式も日常となる中、さまざまな規制が緩和されつつありますが、また少し感染者が増加傾向になってきました。当院では今後も感染対策を徹底し、皆様に安心して診療を受けていただけるよう努めてまいります。これからさらに暑くなっていくと思われますが、水分補給を忘れずに素敵な夏をお過ごしください。

(Y.N)

